

問8 ( )に入る言葉として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① そのうえ
- ② なぜなら
- ③ しかし
- ④ ところで
- ⑤ ならびに

問9 傍線部H「新しい教育制度」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 歴代天皇の名前を丸暗記するなどの詰め込み教育を行うもの。
- ② 国語、算数、理科、社会などの科目を明確に区分するもの。
- ③ 「いいこ、いいこ、みんな、いいこ。」と子ども同士で褒め合うもの。
- ④ 職業能力を養成するために、子どもを地域の人々と交流させるもの。
- ⑤ 子どもたちの関心を暮らしや社会に向ける体験学習を行うもの。

問10 傍線部I「すべからく」と同じ用法として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 子どもの時は、すべからくやりたいことをやるべきである。
- ② 彼は浪費癖があるので、すべからく貯金を使い果たしてしまった。
- ③ 彼女とお会いしたのは、すべからく三年前のことです。
- ④ のどが渇いたが、すべからく水を飲むことには抵抗があった。
- ⑤ しばらく大雨が続くので、すべからく水不足は回避できるだろう。

問11 傍線部J「こうした授業は、確かに、手間がかかる」とあるが、なぜ手間がかかるのか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 村の中心部を流れる川を調査するためには、役場の担当者に許可をもらう必要があるから。
- ② 調査結果によって村の川が汚染されていることがわかれば、その解決までも行う必要があるから。
- ③ 子どもたちを数人ずつのグループに分ける必要があり、その振り分けに時間がかかるから。
- ④ 村の長老は気難しい人なので、川の様子を聞くために何度も足を運ばなければならぬから。
- ⑤ 自分の身体で体験し、自分で考え、自分で調べ、その結果をまとめる必要があるから。

国語 21

問12 傍線部K「学校での共同体験はそのような授業だけではなかった」とあるが、他にはどのような活動があったのか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 理科の時間に学校の畑で作物を育て、皆で調理する活動。
- ② 社会科の時間に魚を釣り、それを売って地球儀を買う活動。
- ③ 村長に山ぶどうで作ったお酒を贈り、日頃の感謝を伝える活動。
- ④ 全校生徒が総出でイナゴを捕り、それを茹でて売る活動。
- ⑤ 年間行事として、学級全員でバレーボールをする活動。

問13 傍線部L「つぶさに」とあるが、ここで使用されている意味に近い語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 粗雑
- ② 概括
- ③ 逐一
- ④ 寸刻
- ⑤ 一粒

問14 傍線部M「こうした経験主義的な教育やカリキュラム」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 体系立った知識の効率的な習得を重んじた教育であったため、受験に大いに役立つとして奨励されていた。
- ② 例示された「川の汚染度調べ」の授業は、理科・算数・国語などの他の科目の勉強にはつながらない科目である。
- ③ 体験学習は、多くの人々と出会う機会を与えるため、子どもたちに暮らしや社会に関心を持たせる効果があった。
- ④ 豊富な共同体験によって互いに興味を持ち合った者たちは、五〇年たった今でも連絡を取り合っている。
- ⑤ 一九六〇年代には「這い回る経験主義」と持て囃され、グループ学習が盛んに行われることになった。

国語 22

【国語】はP.51より始まります。

問1 傍線部ア〜オのカタカナを漢字に直しなさい。

問2 傍線部A「私の経験」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①〜⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 筆者は、小学校に入るとすぐに米作りを手伝い始めており、将来は実家の農家を継ぎたいと考えていた。
- ② 筆者は、学校を欠席してまで田植えや稲刈りを手伝っていたが、いつも人手が足りていないと感じていた。
- ③ 筆者は、学校が一斉休業になる時期にも田植えや稲刈りには参加せずに、高校受験のために勉強ばかりしていた。
- ④ 筆者は、大人と子どもが相互行為する場がある地域で過ごしており、農作業を通して様々な人々と交流していた。
- ⑤ 筆者は、田植えや稲刈りの時期に出稼ぎ部隊で一杯になる村での生活について、いつも過ごしにくさを感じていた。

問3 傍線部B「ネコの手も借りたい忙しさ」とあるが、同様の状態を表す四字熟語として最も適切なものを、次の①〜⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 多情多感
- ② 多事多端
- ③ 好事多魔
- ④ 一期一会
- ⑤ 衆少成多

問4 傍線部C「はず」とあるが、これと同じ品詞となっているものを、次の①〜⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 現代社会で必要とされる能力の多くは、新しい産業に適応したものとなっている。
- ② 少子高齢化に対応するためには、従来の政策では不十分であると考えられている。

国語 19

- ③ 少子高齢化が急速に進んでいるように、現代社会では解決すべき課題が山積みにされている。
- ④ 子どもたちをめぐる環境の変化は大きい<sup>1</sup>が、その本質は変わることなく無邪気である。
- ⑤ 子どもたちはあらゆることを吸収し、自分の能力を急速に高めていくことができる存在である。

問5 傍線部D「地域」と「コミュニティ」とあるが、それらに関する筆者の考えとして最も適切なものを、次の①〜⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 「コミュニティ」とは目で見ることができるものであり、自然物や人工物を含む一定の居住区域のことを指す。
- ② 「地域」とは川・池・丘等の自然物のことを指しており、役所・学校・洋品店・図書館等の人工物は含まれない。
- ③ 大人たちが地域をよくする活動を行えば、役所が不都合を解消して「コミュニティ」が出来る。
- ④ 農村部を離れ都市部に移り住んだ人たちが地域をよくする活動を積極的に行い、「コミュニティ」が生まれた。
- ⑤ 住宅が密集していたとしても、住民の地域への愛着がなければ、「コミュニティ」が形成されるとはいえない。

問6 傍線部E「漠然」とあるが、これと反対の意味になる語句として最も適切なものを、次の①〜⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 自然
- ② 偶然
- ③ 判然
- ④ 猛然
- ⑤ 寂然

問7 傍線部F「弊害」とあるが、これと同じ構成になる語句として最も適切なものを、次の①〜⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 概観
- ② 無尽
- ③ 難易
- ④ 愉悦
- ⑤ 在宅

国語 20





問14

傍線部N「旅人のような影絵」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① あたかも人間のような姿をした幽霊。
- ② 人間が歩いているように見える影。
- ③ 旅をする人になりがちな焦燥感。
- ④ 夕闇の深まりと共に迫ってくる高揚感。
- ⑤ 浮かんでくる畦道やその周辺にある草木。

問15

傍線部O「三人の小さな拡声器から発散される無邪気という波は、この広い大地に拡がり、舞い上がり、果ては大空の極みに吸い込まれて行くようであった」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 三人の様子が次第に自然と一体化し、あたかも大量の魚が釣れたかのような気分になった。
- ② 三人がすごい夕焼けに見惚れているうちに、辺りには夕闇が迫ってきて暗くなっていった。
- ③ 三人が子供らしい笑い声をあげていると、恐怖から逃れられたかのような気持ちになった。
- ④ 三人の口からもれるはしゃいだ声が周囲にまで響き渡り、その後、大空の中に消えていった。
- ⑤ 三人の温かい血のぬくもりがきらきらと輝いた空に舞い上がり、騒然とした雰囲気になった。

問16

傍線部P「一段と高鳴る胸の鼓動に勇気づけられながら、なつかしい我が家へ帰って行ったのである」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① たった半日の間だけで遊びに興じていたのに、家が遠くにあるような気分になった。
- ② 夕焼けを頼りに歩き出してみると思いのほか心地よいので、いつまでも歩いていたい。
- ③ 遙かに思っていた家にもなく到着すると思つくと、興奮を抑えられない。
- ④ いつまでも遊べると考えると胸がどきどきし、何だか元気がなくなったような気がする。
- ⑤ 夕方も遅くなり過ぎたので、両親に叱られないかどうか心配になる。

第三問

次の文章を読んで、後の問い(問15～16)に答えなさい。(設問の都合上、本文の一部を省略・変更した。)

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

問7

傍線部G「透明な水晶を覗く検察官が余念なく下界の善悪を値踏みしているかも知れない」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 検察官は人のあら捜しをしたがるくせがあるので、その批判的な評価にあまりとらわれすぎるべきではない。
- ② 偏見のない目で冷静に世の中を見ていると、今までわからなかった多くのことに気づくことができる。
- ③ 悪いことをして平気でいたとしても、やがてはその行いが自分に戻ってきて、天罰を受けるようになる。
- ④ 天から見下ろすようにして、何がよい行いを判断している存在が見守ってくれているように感じられる。
- ⑤ 悪に身を染めながらも、そのことへの自覚がないために、何度でも同じ過ちを繰り返してしまふ。

問8

傍線部H「帰巢本能」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① ほどばしる気持ちを制御できないこと。
- ② ここにいても仕方がないと分かること。
- ③ 帰宅時間を気にすること。
- ④ 巣作りをしようとする事。
- ⑤ 家に戻ろうとすること。

問9

傍線部I「この期に及んで竿の整理などどうでもよいといった心境が精一を捕まえた」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 竿よりみみずの処理が大変である。
- ② 早く家に帰りたい。
- ③ 魚をどうしても釣りたい。
- ④ この竿は捨ててもいい。
- ⑤ 竿の片づけに手間取る。

問10

傍線部J「その心理」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 時々うしろを振り返っては、人の気配を感じ、孤独感が消えて安心する様子。
- ② 取り残されてはいけないという焦りで、やることが狂ってしまう様子。

③ 誰かが自分の背後にいるかのような感じがして、そのことが気にかかる様子。

④ 夕闇が濃くなり、あたりが暗くなってきて、ちょっと面白いはずがしたくなる様子。

⑤ 自分でも経験したことがある面白い冗談を言いたくて、我慢ができなくなる様子。

問11

傍線部K「倒錯した気分陥った」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 自分も幽霊に追いかけているような気分になったということ。
- ② 怖さが逆に強さになるような感覚を味わったということ。
- ③ わあわあ言っている声が残ましく感じられるようになったということ。
- ④ 声を荒げてひたすら走る快感を覚えてしまったということ。
- ⑤ 心細さに耐え忍ぶ方法に習熟してきたということ。

問12

傍線部L「もしいるとしたらそれは怖いものである」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 大声で泣きながら駆けていけば、救われるような感覚になっていたということ。
- ② ひたすら走り続けても、取り残されている状況には変化がなかったということ。
- ③ 涙とともに声も出るくらい興奮していて、理性を失ってしまったということ。
- ④ 幽霊のように自分を恐怖に陥れてしまうようなものの存在に怯えたということ。
- ⑤ もう自分を守ってくれる者は誰もいないので、孤独感に打ちひしがれたということ。

問13

傍線部M「興味本位におっぼり出したふたりが可哀想になった」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 自分の悪戯心のせいで取り残されることになった祐二と圭一の様子を想像すると、痛々しく同情されるということ。
- ② うしろを振り返ったが、祐二も圭一もどこにいいのか分からなくなってしまったので、罪の意識に強く苛まれたということ。
- ③ 祐二と圭一はおそらく迷子になってどうすればよいか分からなくなっていると想像されたので、作戦の成功に酔いしれていたということ。
- ④ 走りやめてうしろを振り返っても、祐二と圭一の姿は何処にも見えなかったため、その消息がかえって気になりだしたということ。
- ⑤ 帰り道が分からなくなって、強い不安に襲われている祐二と圭一の様子を思い起こし、自尊心に溢れた自分の立場が急に理解されてきたということ。

問1 傍線部A「釣りならではの醍醐味」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の

- ① ①～⑤の中から一つ選びなさい。
- ② 釣りでは感じ取れない約束や決まりごと。
- ③ 釣りでしか味わえないおももしろさや味わい。
- ④ 釣り竿を解くまでのいらいらした気分。
- ⑤ 餌を釣り針につける時間の慌たしさ。

問2 傍線部B「三人の心を泡立たせる期待だけでも、通常に倍する望みを抱かせるような好

天に違いなかったのだ」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 好天だったことが三人の心をさわやかにさせはしたが、逆にこれから面白い出来事が起きるはずだという期待感ばかりが異様に肥大化し、実際には余程のことが起きないと納得できない気持ちになってしまった。
- ② いつもの平常心を忘れさせてしまうくらい大きな期待を持って出かけることとなり、子供たちだけでは危険な出来事に遭遇した際に、冷静な判断ができないような状況になってしまった。
- ③ 通常と比較すると、おそらく倍以上の期待感を持っていたために、三人の連帯感を強める方向へとどこまでも話が弾んでいき、結局、わいわい騒ぐだけで終わってしまうような結果になってしまった。
- ④ 日頃なかなかお目にかからないような好天にずいぶん久しぶりにめぐり合わせたため、三人は浮き足立って興奮する気持ちを抑えきれなくなり、事故に遭遇する危険性と隣り合わせとなってしまった。
- ⑤ 午後の日差しが今日の遊びにわくわくしている三人に味方してくれているかのようにさとと照り輝いていたので、子供たちは夢が実現するかのような気分になり、興奮の様子もひとしおなものになってしまった。

問3 傍線部C「三人は言葉を惜しんで、ひっそりと川岸に佇んでいた」とあるが、その説明

として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 言葉を交わしていると、竿の揺れ具合に目が行き届かなくなってしまう、釣りをしているのかどうか分からなくなる。
- ② 釣りの準備には思いのほか手間取るものなので、寸陰を惜しんで手許をまめに動かし

ている。

- ③ 順番に放り投げられた浮きに見惚れてしまっていて、釣り自体はどうでもよくなつて

国語 11

きている。

④ 釣り糸が水になびく様子に注目していると、言葉を発するのも忘れてしまうほどになつてしまっている。

⑤ 会話するのが面倒くさくなるほど、ポチャンという水しぶきの音に聞きほれてしまっている。

問4 傍線部D「宗旨替え」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 年長者が冷静な判断をすること。
- ② 釣りからふざけ合いに遊びを替えてしまうこと。
- ③ 魚の食らいつく瞬間を逃さないこと。
- ④ 獲物を手にできるといふ期待が継続すること。
- ⑤ 信仰していた宗教に裏切られたこと。

問5 傍線部E「食指をそそれずにはいられなかったようで、休え切れずにはふたりの傍へ行き同じ穴の貉となった」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① おなががすいてしまったので、かばんに入れて持ってきたおやつや飲み物を広げて口にするようになった。
- ② 釣りよりもじゃれあい遊びの方が好きだったので、これ以上我慢し続けるのも難しくなつて、ふたりと同じことをした。
- ③ 面白そうだったから、一人だけ我慢して釣りに集中し続けるのも難しくなり、じゃれあいに参加した。
- ④ 二人の遊びが気になった結果、釣りで魚を取ろうという本来の目標を達成できなくていいというあきらめの境地に陥り、気分が滅入ってしまった。
- ⑤ 肩をくっ付け合つて寝転がり、腋の下や首根っ子を擦り合う小猫のじゃれ合いみたい

問6 傍線部F「小さな波紋を作った」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①

～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① わずかに波打った。
- ② 見えなくなった。
- ③ 逆方向に引つ張られた。
- ④ 一揺れもしなかった。
- ⑤ そのまま浮かんでいた。

国語 12

國語 9

---

國語 10

---

問11 傍線部「まるで」と同じ品詞を含む文として最も適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- ① ライオンは勇敢な動物だ。
- ② 彼は完璧な演技を行った。
- ③ こんな重い荷物は持ったことがない。
- ④ とても面白い本だった。
- ⑤ 彼女は全く動じない。

問12 傍線部K「美しさの価値観そのものを否定するまでになってしまった」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

- ① 過去における美しさは、農村的なものであり、洗練されたものではないと考えるようになってきた。
- ② 戦前において美しいとされたものは、エリートの自己満足に過ぎず、民主化した現在とは価値観が異なっている。
- ③ 地域に合わせた個性的な建物の価値をみとめないようになってしまった結果、現在は、全国どこでも画一的になってしまった。
- ④ 戦前と戦後では、政治体制が異なってしまう、それに伴い美的な感覚が失われてしまった。
- ⑤ 現在は、外国人が美しいと感じるものに迎合するようになってしまい、日本的な美が失われてしまった。

問13 傍線部「どの「まち」も懐かしく思い出される」とあるが、筆者がそういう思いを抱く理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 今の都市は、外国人住民が多くなってしまい、異国の都市のような感じがするから。
- ② 昔の方が、行政が住民の意向を尊重して「まち」づくりを行っていたから。
- ③ 昔の建物の方が、日本人の伝統的生活になじんでおり、落ち着かない気がするから。
- ④ 昔は、人々が連帯意識を有し、「まち」について愛着を持って生活を送っていたから。
- ⑤ 今、慌ただしい生活を送っているため、昔の日々と重ねて「まち」を思いだすから。

第二問 次の文章を読んで、後の問い(問1～16)に答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

③ 近代の都市は、色々な建物が建設されているため、美しくなりようがないとはじめから諦めているから。

④ 日本人は、整然とした「まち」よりも、雑然として調和がとれていない「まち」を美しいと思っているから。

⑤ 日本人は、「まち」という全体性を意識していないため、自宅など個別的な美しさしか意識が向いていないから。

問5 傍線部D「そうした考え」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

① 建築家は、限られた予算や敷地の中でやりくりするのが大切である。

② 建築家は、全く何もないところに自由にデザインする創造性が重要である。

③ 建築家は、設計する際、その家だけでなく、「まち」との調和を考えるべきである。

④ 建築家は、デザイン能力よりも依頼者の要望に応えることが重要である。

⑤ 建築家は、きれいな設計図を用いて宣伝する能力を養うべきである。

問6 傍線部E「タテワリ」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

① 全体の計画に沿って、各省庁が工事を分担して行うこと。

② 共通の目的に向かって複数の組織が、一つの方向へ動いていくこと。

③ 部署間で連携がとれておらず、非効率で重複的な業務を行っていること。

④ タテの通りを中心にまちを設計し、建物を配置していくこと。

⑤ 竹を割ったように、物事の細かい点にこだわらず決定を下すこと。

問7 傍線部F「政府機関までが自己中心に動く」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

① 政府機関の役人は、公共のためではなく、個人的に得るワイロのために行動している。

② 政府機関は、押し強い自己中心的な住民に負けて、「まち」に調和しない住宅の建設を結果的に容認している。

③ 政府機関は、責任をもって「まち」全体を考えるべきなのに、それぞれの省の考え方に従ってばらばらに動いている。

④ 政府は、政治家の自己中心的な利益に奉仕するための道具として動かざるをえなくなる。

⑤ 政府は、「まち」を再開発することを通じて、政府の権威を高めたという動機から動いている。

国語 5

問8 傍線部G「間借り人」的な住民」とあるが、この言葉に対する説明として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

① 明治時代を迎えて、次々に新しい「まち」ができていく中で、間借りという文化が衰退してしまったこと。

② 東京など大都市では、住宅事情が厳しいため、どうしても間借りせざるをえないこと。

③ 賃貸住宅に長らく住んでいることから、どうしても毎月の家賃の心配ばかりしていること。

④ 自分の住む部分にしか関心がなく、自分たちのものとして「まち」全体に関わりたくないこと。

⑤ 部屋を間借りしている感覚で、隣人がどのような生活をしているか気になり、聞き耳を立てる習慣があること。

問9 傍線部H「無関心なのも当然だった」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

① 政府が、市民を新たな都市を造る際に労働力として期待していたが、市民は負担を恐れ、無関心を装っていたため。

② 市民は、都市計画について意見を言うと、政治犯として取り締りを受けるため、無関心であることを余儀なくされたため。

③ 市民は、都市について関心を持っていたが、政府の考える都市計画に失望し、関心を失ってしまったから。

④ 市民は、生活で慌ただしく日々を送っており、「まち」全体について考える暇がなかったから。

⑤ 政府が市民をまちづくりの主体とは考えておらず、市民は、都市計画は行政が行うものと考えているようになっていたから。

問10 傍線部I「う」と同じ用法として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

① 両親が怖くてテストの点数を言おうにも言えない。

② その荷物では重かったことでしょう。

③ 新学期も終わろうとするところだった。

④ 大学へ進学すべきであろうか。

⑤ 次の週末には博物館に行こう。

国語 6

問1 傍線部ア～オのカタカナを漢字に直しなさい。

問2 傍線部A「ハード」の例として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

- ① 「まち」づくりに関する住民の合意の難しき。
- ② 建築資材の硬さの計算方法。
- ③ みんなが集まって議論することができる場所。
- ④ レストランの従業員の教育。
- ⑤ 市長が当初の都市計画を頑なに変更しない一貫した姿勢。

問3 傍線部B「あたかも」と異なる意味を持つ語句を、次の①～⑤から一つ選びなさい。

- ① すばやく
- ② まるで
- ③ さながら
- ④ およそ
- ⑤ ちょうど

問4 傍線部C「なぜ「まち」が美しくなくなったのか」とあるが、この問いに対して筆者が考えた理由として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選びなさい。

- ① 日本人にはもともと「まち」を美しくすることに關わる美的感覚が欠如しているから。
- ② 日本は常に財政難に苦しんでいたため、「まち」を美しくするために必要な予算を欠いていたから。



# 国語

●社会環境学部（社会環境学科）

（3教科型・2月10日実施分）

（解答：66ページ）

第一問  
次の文章を読んで、後の問い（問1～13）に答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

国語 1

---

国語 2

---